

# 陸上競技協会

## はじめに

“1964 TOKYO” 昭和39年10月10日アジアで初めてのオリンピックが東京で開催されたのを記念し、その後『体育の日』が制定され、そして昭和43年道民スポーツ大会の第1回大会が開かれた。陸上競技部門では、選手不足に悩む当町としては十勝大会に出場する選手の選出に苦慮した。とりわけその掌に当たられた体連、町教委社教の方々のご労苦に感謝している。『健康な体力づくりと明るい幕別町をつくるため……明日の……』をモットーにスポーツ振興が叫ばれたのもこの頃であろう。本町でもかつては、町民運動会があり、その中から道民スポーツ大会の代表選手を発掘する方法をとったこともあったが、その後この運動会も中止され、陸上競技的催しといえば青年スポーツ大会くらいとなった。道民スポーツ大会が間近かになると関係者は選手集めに東奔西走した。“勝つことよりも参加することに意義”とはいえ……、道民スポーツ大会の団体に勝つためには青年から壮年まで男女幅広い層の参加と、全種目にフルエントリーの出場が要求されるのである。

本町ではかつて、道民スポーツ大会で連勝した秋山雅子さん(砲丸投)、高校陸上界で全道・全国大会で活躍した相原 毅君(長距離)、笹 達己君(跳躍)、本田敏春君(やり投)など多くの優秀選手が町内に在住し、そして現在なお自らも選手として健闘し、後輩の育成にもよき指導者として力を注いでいる。このような先輩諸氏をトップアスリートとして組織だった活躍が望まれるようになり町、体連、陸上競技愛好者有志の方々の努力によって陸上競技協会の誕生までこぎつけたのである。

## 沿 革

### 1. 生いたち

前述のように陸上競技愛好者からも強い要請があり、次の4名の方々が呼びかけ人となって昭和50年10月10日 第1回目の準備委員会議を開き、陸上競技の振興と発展を願い全員一致で幕別町陸協の創設を確認しあい、同年10月29日 設立総会を開催する準備を急いだ。

〈準備委員次のとおり〉

委員長 平山方仁(新和小学校) 委員 林 一夫(幕別高校)、黒田信夫(幕別中学校)、今野 久(国鉄幕別駅)

そして昭和50年10月29日 第1回幕別町陸上競技協会設立総会が開かれ、準備委員長より経過説明があり、体育連盟会長、教育委員会より祝辞をいただき、続いて審議に入り、規約、明年度の事業計画、予算そして役員選出となり初代会長に平山方仁氏を選び、事務局を幕別中学校(事務局長 黒田信夫氏)に設置し、次の役員を選任し幕別町陸上競技協会が誕生した。

〈役員氏名次のとおり〉

会長 平山 方仁 副会長 林 一夫・亀谷 雅彦 理事長 今野 久

理事 須田 昇一・清水 広志・岩井 浩・管野 良則  
 高山 正・伊豆倉 裕  
 会計 佐藤 克己 事務局長 黒田 信夫  
 監事 坂口 利久・高島 政由



初代会長 平山方仁氏  
 (現足寄西中学校長)

◇◇◇◇ 創設当時を想う ◇◇◇◇

設立準備委員 林 一夫氏  
 (現副会長)

『健康な体力づくりと精神の涵養をもってスポーツの楽しさを  
 ……』と思い私たち陸上競技愛好者が集まり、協会を設立するこ

とになり、平山先生をキャップに着々と準備をすすめ、最初に事務局(幕中)をつくり、陸上競技愛好者に呼びかけました。昭和50年9月準備委員会を充足させる運びとなりました。そして同年10月愛好者12～13名の出席により総会を開催、協会が創立いたしました。そしてみんなで今後陸協組織の強化が選手強化につながることを確認しあい、全町民に呼びかけ、会員を増やして、来年度からの道民スポーツ大会に備えることを誓いました。私自身も道スポのリレーメンバーとして出場したこともありまし、関係役員のご苦労にも感謝しております。現在会員は40名程度ですが、会員を更にふやし、役員の方々と協力して町内陸上競技大会の開催とそれをきっかけにして選手層を厚くして道民スポーツ大会の好成績と、健康な体力づくりと陸上競技の普及、発展に努力したいと考えております。



2. 設立後の活動状況

昭和51年度

51. 7. 4 陸協結成記念第1回町民陸上競技大会兼道民スポーツ大会出場選手選考会  
 場 所 幕別中学校グランド  
 種 目 小・中・高・一般男女 トラック8種目 フィールド3種目  
 参加者 小・中・高生 80名 一般 30名 計 110名
51. 8. 1 第8回道民スポーツ十勝夏季大会出場  
 場 所 帯広市緑ヶ丘陸上競技場  
 参加者 代表選手 38名
51. 9. 26 幕別町開基80周年記念第6回全町交通安全駅伝大会(陸協主管)  
 コース 幕別一札内折返し(18Km)  
 区 間 中学男子 4区間 中学女子 6区間 一 般 6区間  
 参加数 17チーム
51. 10. 10 幕別町開基80周年記念第7回全町マラソン大会 (陸協主管)

コース 幕別中学校グラウンド特設コース

参加者 小学生 536名、中学生 63名、一般 28名、計 627名

昭和52年度

初代会長 平山方仁氏転出により、残任期間53年3月まで2代会長として  
森脇 仁氏就任される。

52. 7. 10 第2回町民陸上競技大会

場 所 幕別中学校グラウンド

種 目 小・中・高・一般男女 トラック8種目 フィールド4種目

参加者 合計 87名

52. 7. 31 第9回道民スポーツ十勝夏季大会出場

場 所 帯広市緑ヶ丘陸上競技場

種 目 男子A・B、壮年、女子A・B 計 30種目

参加者 幕別町代表選手 計40名

成 績 男女総合 第3位

52. 8. 21 第4回南部忠平杯駅伝競走大会出場

コース 中札内-大樹間 32.8 Km 8区間

出場選手名

第1区 稻上 豊彦

第5区 国安 広美

総監督 森脇 仁

第2区 清水 広志

第6区 森原 治

監督 林 一夫

第3区 五十嵐 滋

第7区 高島 由信

コーチ 渡辺 緑朗

第4区 棚 栄正

第8区 高畠 政由

成 績 一般の部 第9位 2時間3分00秒



52. 9. 25 第7回全町交通安全駅伝大会(陸協主管)

コース 幕別-札内折返し (18Km)

区 間 中学男子 4区間 中学女子・一般 6区間

参加数 13チーム

52. 10. 2 第1回全町陸上競技選手権大会

場 所 町営陸上競技場

種 目 小・中・高・一般男女 トラック9種目 フィールド4種目

町営陸上競技場完成に伴う施設、設備用具等について至急整備されるよう陸協より大石町長へ258万円にのぼる整備計画書を付し陳情する。約100万円の設備がなされ、町営競技場オープンを記念し第1回選手権大会を盛会に催した。

52. 10. 10 第8回全町マラソン大会 (陸協主管)

コース 幕別町営陸上競技場特設コース

昭和53年度

役員改選の年度にあたり、総会の結果、森脇 仁氏が会長に再選され、以下役員次の通り選任される。

会長 森脇 仁

副会長 林 一夫、亀谷 雅彦

理事長 木藤 隆光

副理事長 桂田 勝、今野 久

会計 佐藤 克己

事務局長 黒田 信夫

次長 渡辺 緑朗

監事 木川 拓二、高畠 政由

理事

菅野 良則、横山 一男、相原 毅、須田 昇一

清水 広志、高山 正、岩井 浩、伊豆倉 裕

秋山 雅子、葎 達己、稻上 豊彦、本田 敏春

広瀬 有宏

53. 6. 18 第3回町民陸上競技大会

場所 町営陸上競技場

種目 前年に同じ

参加者 小・中・高・一般男女 計 188名

53. 7. 30 第10回道民スポーツ十勝夏季大会出場

場所 帯広市緑ヶ丘陸上競技場

参加数 役員、選手総勢 45名

成績 男女総合 準優勝

監督、コーチ、選手一団となつての強化練習がみのり、音更町に僅差で破れはしたものの、昨年の第3位を上回る堂々総合準優勝の荣誉に輝き、来年度はぜひ総合優勝をと全員決意を新たにした。

個人成績第3位までの入賞者次のとおり

男子A 秋元 健一 走巾跳 第3位 女子A 本田 久子 走巾跳 第1位

大須賀次郎 走高跳 第2位

男子B 葎 達己 走巾跳 第3位 女子B 寺島 久美 100 M 第2位

石川 雅洋 走高跳 第2位

寺島 久美 走巾跳 第2位

本田 敏春 砲丸投 第2位

壮年 相原 毅 3,000 M 第1位

岩井 浩、菅野良則、佐藤克己、三好政男 400 MR 第3位

53. 8. 27 第5回南部忠平杯駅伝競走大会出場

コース 中札内-大樹間 32.8 Km 8区間



2代会長に就任した

森脇 仁氏

出場選手名

第1区 相原 毅	第5区 浅井 嘉伸	総監督 森脇 仁会長
第2区 中村 徳之	第6区 土井 宏文	監督 林 一夫副会長
第3区 藤井 仁志	第7区 稲上 豊彦	コーチ 渡辺緑朗
第4区 清水 広志	第8区 高島 由信	

成績 一般の部 第9位 2時間5分19秒

53. 9. 23 第8回全町交通安全駅伝大会 (陸協主管)

コース 町営陸上競技場 - 札内市街折返し 18Km

区間 前年と同じ

参加数 中学男女・高校・一般 計 17チーム

53. 10. 1 幕別町開町記念第2回全町陸上競技選手権大会

場所 町営陸上競技場

種目 小・中・高・一般男女 トラック9種目 フィールド4種目

参加者 合計 208名 ※参加者全員に参加記念品、3位までの入賞者に金・銀銅のメダルを贈る。

53. 10. 10 第9回全町マラソン大会 (陸協主管)

コース 町営陸上競技場特設コース

3. 現在の活動状況

昭和54年度

町陸協設立以来事務局長として協会の総務的業務全般に亘って担当してこられた黒田信夫氏が54年3月で転出することになり、協会から感謝状と記念品を贈り、同氏の永年に亘るご労苦と功績を讃え感謝の意を表する。

後任には事務局次長の渡辺緑朗氏が、そして事務局次長には、理事の横山一男氏が選任され、来年3月まで陸協事務を執行することになった。従って事務局が移転し、幕別高校内へ変わった。

54. 6. 24 第4回町民陸上競技大会

場所 町営陸上競技場

種目 小・中・高・一般男女 トラック9種目 フィールド4種目

参加者 合計 324名

本大会も回を重ね4回目を迎えた。陸協結成を記念して開かれた第1回大会は、参加者数110名であったのが3倍にも膨れ上がり、記録も年々数多く更新され、初期の念願であった町民こそって……底辺の拡大と、層を厚くという目標に一步近づいた気がする。

遂に堂々念願の総合優勝// 第11回道民スポーツ夏季十勝大会

個人も相原 毅君(3,000M)、本田久子さん(走巾跳)2連勝

54. 7.29 第11回道民スポーツ十勝夏季大会出場

場 所 帯広市緑ヶ丘陸上競技場

参加者 役員、選手 45名

一昨年の第3位、昨年準優勝、そして今年は……役員、選手一同の気構えも自然と変わって来る。会長自ら選手の出場要請に当り、監督、コーチ陣も選手強化策を練り、強化練習のスケジュールも例年にない厳しいものだった。選手依頼についても関係方面にかなり御無理を願った。おかげで全種目にフルエントリーすることができた。特に幕別小学校の女子の先生

方にも、家庭で夕食の仕度も習いかけつけてくれたママさん合優勝への大きな要因になった特に前年度に引き続き壮年の部君には、日頃の精進に対しても100Mの岩井君、男子A 5,000



森脇会長と共に盛んな声援をおくってくれた大石町長(左)と福田教育長(右端)

本田さんの優勝は団体優勝の最大の刺激ともなった。また大石町付け、選手への激励、そしてカンフル剤ある。思えば早く総合か。設立以創設にご尽した布石に感であろう他季を期して手と共に歩むつもりである。



念願の総合優勝を手中にした優勝牌

しなければならぬ時刻の練習選手に深く感謝し、それが総ことを忘れずにはいられない。3,000Mに連続優勝した相原敬意を表したい。また、壮年Mの竹内君、女子A走巾跳のきな原動力となり、他選手へ長、福田教育長も早くから駆声援が選手にとってどれだけ

となっただろう。ありがたい幸せば陸協創立以来3年余ヶ月、こんな優勝するとは誰が予想したでしょう前にお世話をしてくれた方々、陸協力下さった先輩の方々が創ってくれ謝すると共に、今後追いかけられるの市町村からの重圧をはねのけ、来頑張るしかない責任を感じながら選

競技成績

個人成績(3位までの入賞者)

総合優勝 幕別町 81点

男子A 竹内 文雄 5,000 M 優勝

男子B 春 達己 走巾跳 第2位

本田 敏春 砲丸投 第3位

壮年 岩井 浩 100 M 優勝

相原 毅 3,000 M 優勝

{ 菅野 良則 }  
 { 長屋 忠弘 } 400 MR  
 { 佐藤 克己 } 第2位  
 { 今野 久志 }

大須賀次郎 走高跳 第2位

石川 雅洋 走高跳 第3位



女子A 本田 久子 走巾跳 優勝

〔本田 久子〕  
〔吉仲希和子〕  
〔葎 町子〕  
〔池本 友子〕

400 MR 第2位



『道スポの輝やかなしい優勝を祝す』

当陸協創立当初よりの前事務局長黒田信夫氏（現芽室中）＝写真右上＝より祝辞をいただきました。以下に掲載します。

皆さまお元気で活躍し、輝やかなしい道民スポーツ大会の総合優勝の栄誉をかちとったことは、大変おめでとうございます。

一昨年第3位、昨年準優勝、そして本年優勝と町陸協の皆様や役員の方々の努力と精進の賜と思っております。今後一層のご活躍をお祈りいたします。

54. 8. 9 昭和54年度陸上競技施設用具伝達講習会開催

場 所 町営陸上競技場、町民会館会議室

参加者 十勝管内陸上競技関係者

54. 9. 30 第9回全町交通安全駅伝大会（陸協主管）

コース 町営陸上競技場－札幌市街折返し 18Km（区間前年度に同じ）

参加数 中学男女・高校・一般 合計 15チーム

54. 10. 10 幕別町体育連盟創立20周年記念第3回町陸上競技選手権大会

場 所 町営陸上競技場

種 目 前年度に同じ

参加者 小・中・高、一般 合計 388名

町内大会で最高の出場者を記録する。

＝写真右端＝熱戦を展開する大会風景

54. 10. 21 第10回全町マラソン大会（陸協主管）

場 所 町営陸上競技場特設コース

